

入札説明書等に関する質問回答

| No. | 資料名 | 頁 | 項目 | 質問事項 | 回答(案) |
|-----|-------|---|---------------------|---|---|
| 1 | 入札説明書 | 5 | 4.1 入札参加資格者の参加資格要件 | 8) 申請書を 6 (1) の提出期限までに提出、とは 10 月 3 日に提出ということによろしいでしょうか。 | 公告日から 10/3 (木) 17 時までの期間でご提出ください。 ※6(1)の提出期限は、4.3(4) 4)の提出期限の誤りです。 |
| 2 | 入札説明書 | 9 | 4.3 入札に関する手続き | (6) 1) 提出書類 エ見積設計図書の内容は、どのようなものにすればよいでしょうか。ご教示ください。 | 要求水準書 P12 (第 1 章_第 6 節_1. 見積設計図書) をご参照ください。 |
| 3 | 入札説明書 | 9 | 4.3 入札に関する手続き | (6) 6) 開札 エ 最低制限価格が設定されているのでしょうか。 | 設定ありません。 |
| 4 | 要求水準書 | 2 | 第 1 章 総則 第 1 節 計画概要 | 3 施設概要・規模 3) 計画処理量で ※工事期間は、土曜日、日曜日、祝日を含んでいる。とありますが、第 3 章 埋立、掘起こし工事等に関する要件の 7 受入作業では、焼却残さ | 基幹的設備改良工事期間中の日当たり湿灰搬入量は、ご認識のとおりです。 |

| No. | 資料名 | 頁 | 項目 | 質問事項 | 回答(案) |
|-----|-------|---|-----------------------------|--|---|
| | | | | の搬入日は土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除いた日、となっております。そうすると R8 年度の日当たりの湿灰処理量は(100 日から土日祝日を除いた日数で受入処理) 14,269 t /約 67 日=約 213 t 程度になるということでしょうか。ご教示ください。 | |
| 5 | 要求水準書 | 2 | 第 1 章 総則 第 1 節 計画概要 | 3 施設概要・規模 3) 計画処理量で比重を計算すると見掛け比重 1.14 ~1.26 となりますが間違いはないでしょうか。 | 産業廃棄物(燃え殻、ばいじん)の重量換算係数を参照していますが、搬入団体ごとに見掛け比重は異なることにご留意ください。 |
| 6 | 要求水準書 | 2 | 第 1 章 総則 第 1 節 計画概要 | 3 施設概要・規模 4) 乾燥灰受入処理施設の施設規模 80t/日とは日当たりの混練量と理解してよろしいでしょうか。 | ご認識のとおり、混練機の処理能力は最大 80t/日(5t/時×8 時間×2 基)としてください。 |
| 7 | 要求水準書 | 9 | 第 1 章 総則 第 4 節 試運転及び指導期間 | 2 運転指導 4) 工事完了後直ちに循環組合側において本稼働ができるように~という意味は、運転は循環組合の職員のみで行われるということでしょうか。ご教示ください。 | 通常、施設の維持管理・運転は受注者が実施することとしますが、協議の上、必要な運転指導を実施してください。 |
| 8 | 要求水準書 | 9 | 第 1 章 総則 第 8 節 引渡し | 引渡す設備とは乾燥灰の受入処理設備という理解でよろしいでしょうか。 | 乾燥灰受入処理施設棟及び乾燥灰受入処理設備並びに湿灰受入処理施設棟及び湿灰受入処理設備一式とします。 |
| 9 | 要求水準書 | 9 | 第 1 章 総則 第 8 節 引渡し | 引渡し後の薬剤の調達は、受注者でしょうか。 | 薬剤及び水光熱費は受注者負担とします。 |

| No. | 資料名 | 頁 | 項目 | 質問事項 | 回答（案） |
|-----|---------|----|------------------------------------|---|--|
| 10 | 要求水準書 | 25 | 第2章 設計、建設工事に関する要件 第3節 乾燥灰受入処理設備 | その構成は、次項を参考にして計画すること。とありますが構成の変更は可能でしょうか。 | 十分な養生時間など要求水準書で定められた性能を満たす限り、構成の変更は可能です。 |
| 11 | 要求水準書 | 27 | 第2章 設計、建設工事に関する要件 第4節 湿灰受入処理設備 | 4)特記事項(1) 想定される最大搬入量2日分(約700t)以上とありますが、約350t/日搬入される場合があるということでしょうか。 | 過去五年間で確認できた最大実績値で設定しています。 |
| 12 | 要求水準書 | 32 | 第3章 埋立、掘り起し工事等に関する要件 第1節 埋立、掘り起し工事 | 8.埋立工 4)仮覆土面に保護シートの敷設を行うこと。とありますが仮覆土面とはどういう状況のことでしょうか。ご教示ください。 | 仮覆土面とは、最上層の石灰石による覆土面のことをいいます。 |
| 13 | 要求水準書 | 34 | 第3章 埋立、掘り起し工事等に関する要件 第2節 本施設の維持管理 | 2.点検・検査計画の作成 引渡し後の設備についても、受注者で日常点検、定期点検、法定点検・検査、自主検査を実施するということでしょうか。 | ご認識のとおりです。 |
| 14 | 入札金額内訳書 | 4 | 9 乾燥灰受入・安定化処理工 | 数量15月となっていますが、土曜日、日曜日、祝日を含んだ月数でしょうか。ご教示ください。 | 土曜日、日曜日、祝日を含んだ月数です。 |
| 15 | 入札金額内訳書 | 5 | 13 掘起こし残さ前処理工 | 数量135月となっていますが、供用開始から工事の終了目途の令和19年3月末までの126月及び受入れ | 要求水準書に示す工事期間を正としてください。 |

| No. | 資料名 | 頁 | 項目 | 質問事項 | 回答(案) |
|-----|------------|----|-------------------------------|---|--|
| | | | | 15 月という条件からすると、残さ前処理工の工期は 111 月となりますが、考え方が異なるのでしょうか。ご教示ください。 | |
| 16 | 入札金額内訳書 | 4 | 9 乾燥灰受入・安定化処理工～13 掘起こし残さ前処理工 | 光熱水費等、運搬、盛土工等に記載された数量が、要求水準書の計画処理量と異なりますが、どちらを正とすればよろしいでしょうか。ご教示ください。 | 要求水準書に示す計画処理量を正としてください。 |
| 17 | 工事請負契約書(案) | 6 | (現場代理人、主任技術者並びに管理技術者等) 第 14 条 | 5 本設計の技術上の管理を行う管理技術者は、現場代理人が兼ねることが可能でしょうか。ご教示ください。 | 兼務は可とします。 |
| 18 | 工事請負契約書(案) | 14 | (検査及び引渡し) 第 37 条 | 2 ～本施設を最小限破壊して検査する。とはどのような状況の場合でしょうか。ご教示ください。 | 鉄筋等、施工後確認できない工種について、写真等で事後確認ができない場合、検査員の指示に従って構造に影響を与えない範囲で施工状況を確認します。 |
| 19 | 工事請負契約書(案) | 14 | (検査及び引渡し) 第 37 条 | 5 検査に要する～現状に復する費用はすべて乙の負担としますが、乙の責に起因しないものについても負担となるのでしょうか。ご教示ください。 | 検査及び復旧に要する費用は乙の負担としますが、検査の内容・項目は協議の上、決定します。 |
| 20 | 工事請負契約書(案) | 17 | (部分払) 第 44 条 | 100 分の 90 の部分払いの、残りの額(100 分の 10) の支払いはいつになるのでしょうか。ご教示ください。 | 検査及び引渡し後に支払います。なお、埋立、掘り起こし工事については、部分払ではなく、焼却残さ量に応じた工事費を支払うこととします。 |

| No. | 資料名 | 頁 | 項目 | 質問事項 | 回答(案) |
|-----|----------------|----|-------------------|--|---|
| 21 | 工事請負契約書 (案) | 19 | (契約不適合責任期間等) 第48条 | 本条項では発注者、受注者という文言が使用されておりますが、甲、乙と読み替えて解釈してよろしいでしょうか。 | ご認識のとおり、読み替えて解釈してください。 |
| 22 | 工事請負契約書 (案) | 25 | (あっせん又は調停) 第61条 | 2 前項の規定にかかわらず、～管理技術者、照査技術者その他～の照査技術者とはどのような業務を行うのでしょうか。また兼務は可能でしょうか。ご教示ください。 | 照査技術者は、設計内容が要求水準書を満足するか、設計図等に誤りがないか、設計担当者とは別に技術上の照査を行う者で、管理技術者との兼任はできないが、他の工事・業務との兼任は可とします。 |

※1 質問は、本様式1行につき1問とし、簡潔にまとめて記載すること。

※2 質問数に応じて行数を増やし、「No.」の欄に通し番号を記入すること。なお、「No.」欄及び「頁」欄は、半角数字で記入すること。